



COMMUNICATION SUPPORT SYSTEM

取扱説明書



universal sound design®

この度は comuoon connect をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み
ください。また、必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。

お問い合わせ窓口 製品の仕様・使い方や修理・製品のご相談は、お電話、
ホームページおよびEメールサポートまでお願いいたします。

当社では、聞こえが気になる方でもお問い合わせいただけるようにお電話とは別に
メールアドレスおよびWebサイトでのお問い合わせを設置させていただいております。

https://u-s-d.co.jp/contacts/form_loan/

E-mailの場合は、「support@u-s-d.co.jp」へお問い合わせください。

TELの場合は、 **0120-033-553**

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

受付時間 10:00~18:00 土・日・祝、弊社休業日を除く

※お休み明けなどの混雑時はご返答にお時間をいただく場合がございます。

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-11 マリンクス・タワー 2F

URL: <http://u-s-d.co.jp>

コミュニケーションサポートシステム comuoon connect について

「comuoon（コミュニケーション）」とは、「Communication」と「Cocoon」の造語です。

「健聴者と難聴者、中途失聴者の方とコミュニケーションを楽しんでほしい」「まったく新しい聴こえの形が生まれた」という意味を込めています。

また「コミュニケーション」という呼び名はフランス語のコミュヌ [komyɛn]「共用」「共有」にあたり「聴こえのユニバーサルデザインを実現していく」という意味を込めたネーミングです。

comuoon connect の特徴について

難聴者と健聴者間の「コミュニケーション」をサポート

「コミュニケーションサポートシステム comuoon connect（コミュニケーションコネクト）」は、デジタルアンプ、マイクアンプ、マイクが一体化したマイクロ PA※システムです。話し手が付属のマイクで語りかけることで、軽度の難聴者の方や、補聴器を装着している難聴者の方への聴こえを改善しコミュニケーションをサポートすることができます。

※ Public Address の略、イベントや講演会等でマイク、スピーカー、アンプ、ミキサーなどを使って声や音を拡声するシステムを指します。

ワンステップですぐに利用できる

それぞれの機器の電源を入れ、comuoon connect 本体のペアリングボタンを押し、マイクトランスミッターとコントロールドック/レシーバーを接続すれば準備完了。難しい設定は必要ありません。

高音質デジタルワイヤレス技術を搭載

デジタルワイヤレスにより信頼性が高く安定したワイヤレス音声伝送を実現。

アナログワイヤレスシステムとは異なり、干渉やシグナル劣化のリスクが減少します。最大通信範囲は 10m となります。

最大 4 システムを組み合わせて利用可能

1 台のワイヤレスマイク送信機（マイクトランスミッター）に対して、最大 4 台の comuoon connect 本体を同時に使用できるので、異なる聴力レベルの難聴者の方でもご利用が可能となります。

スピーカー部の上下の角度調整が可能に

カウンターの高さや聞き手の身長に合わせて、聞きやすい角度に設定できるようになりました。

ボタンの視認性をアップ

ユーザビリティが改善し、音量ボタンやミュートボタンのデザインをさらに見やすくしました。

comuoon リスニングエンジン

「comuoon リスニングエンジン」は低消費電力ながら、ピュアでクリーンな音質を生み出し、オーディオメーカー各社のトップエンドモデル機に採用されている、新日本無線製オーディオ用高音質オペアンプ「MUSES」を採用、同社の 1bitA/D コンバータ、DSP を組み合わせることにより、スピーカーの直前までフルデジタル処理で行う先進の構成で低ノイズかつ忠実な音声を再現します。

コントロールドック/レシーバー内には D Class アンプ、マイクアンプ、DSP および A/D コンバーターなどすべての機能を手のひらほどの小ささにおさめました。

目次

パッケージ内容	4
安全にお使いいただくために	5
無線通信機能を使用する場合のお願い	10
各部の名称	11
本体（コントロールドック／レシーバー）	11
マイクトランスミッター	13
comuoon connect の準備	15
comuoon connect の接続	17
comuoon connect の設置	19
教室での設置例	19
comuoon connect の使い方	21
ハウリングするときは	23
ハウリングを改善するために	23
困ったときは	24
comuoon connect 製品仕様	27

パッケージ内容

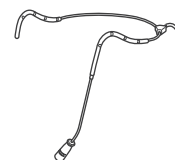
ご使用になる前に次の同梱品がそろっているか確認してください。



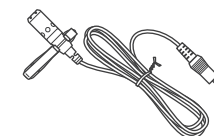
- ・ 本体（スピーカー、コントロールドック／レシーバー）



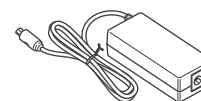
- ・ マイクトランスミッター



- ・ ヘッドセットマイク
comuoon connect type HS に
付属します。



- ・ ピンマイク
comuoon connect type PM に
付属します。



- ・ AC アダプタ



- ・ 電源コード

- ・ USB ケーブル
- ・ 取扱説明書（本書）
- ・ 保証書

安全にお使いいただくために

ここに示した警告サインと図記号の例は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。表示と意味は次の通りです。



警告

この表示の項目を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示の項目を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



この図記号は禁止行為であることを示しています。



この図記号は必ず実行していただきたい行為であることを示しています。



警告

本製品について



煙が出たり、異臭、異音などの異常を感じたりしたら、すぐに使用を中止してください。

そのまま継続して使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。



絶対に分解したり、修理、改造をしたりしないでください。

火災、感電、故障、やけどの原因になります。



内部に異物を入れないでください。

液体や異物が内部に入ってしまったときは、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

水などの液体や金属片などの異物を入れると、火災、感電、故障の原因になります。



落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。

衝撃を加えてしまったときは、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま継続して使用すると、火災、感電、故障の原因になります。



雷が鳴りだしたら、本体や AC アダプタ、電源コードに触れたり、マイクなど周辺機器を接続したりしないでください。

落雷による感電の原因になります。



長時間、音がひずんだ状態で使用しないでください。

発熱し火災、故障の原因になります。



注意

本製品について



磁気の影響を受けやすいもの（磁気カード、時計など）を近づけないでください。

スピーカーからの磁気の影響で使用できなくなる恐れがあります。



本製品を移動するときは、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災、感電、故障の原因になります。



スピーカー部を持って本体を持ち上げたり、移動したりしないでください。

コントロールドック／レシーバー部が外れて落下して、故障、けがの原因になります。



警告

本製品の設置について



水や薬液のかかる恐れのある場所に設置および保管しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。



高温、多湿、ほこりの多い場所に設置しないでください。

窓際や車中など直射日光のあたる場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近くなど油煙のあたる場所、湿気の多い場所、またほこりの多い場所に設置すると火災、感電、故障の原因になります。



注意

本製品の設置について



不安定な場所に設置しないでください。

落下したり転倒したりして、故障、けがの原因になることがあります。



電源コードや接続ケーブルを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に置かせないでください。

つまづいて転倒したり、本製品が落下したり、けがや事故の原因となります。



電子機器や発信機（携帯電話など）から離して設置してください。

雑音の原因になります。



警告

電源について



AC アダプタは AC100V の家庭用電源で使用してください。
異なる電源で使用すると、火災、感電、故障の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電、故障の原因になります。



電源プラグやコンセントにほこりがつかないようにしてください。

電気の火花がほこりに引火し、火災、感電、故障の原因になります。
定期的にゴミやほこりを取り除いてください。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着したりして火災、故障の原因になります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントは使用しないでください。



電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、電源コードが破損して、火災、感電、故障の原因になります。



電源コードの上に重い物を載せないでください。

電源コードが破損して火災、感電、故障の原因になります。



AC アダプタを布やカバーで覆わないでください。

熱がこもることで、AC アダプタが変形して、火災、感電、故障の原因になります。



付属の AC アダプタや電源コード以外を使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。



注意

電源について



長期間使用しないときは、電源を切って電源プラグを抜いてください。
安全のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。



通電中の本体や AC アダプタに長時間触れないでください。
低温やけどの原因になります。



電源コードを AC アダプタに巻き付けしないでください。
断線の原因になります。



注意

お手入れについて



ベンジン、シンナー、合成洗剤などの薬液を使用しないでください。
変色の原因になります。汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
その際、マイクに息を吹きかけることはしないでください。



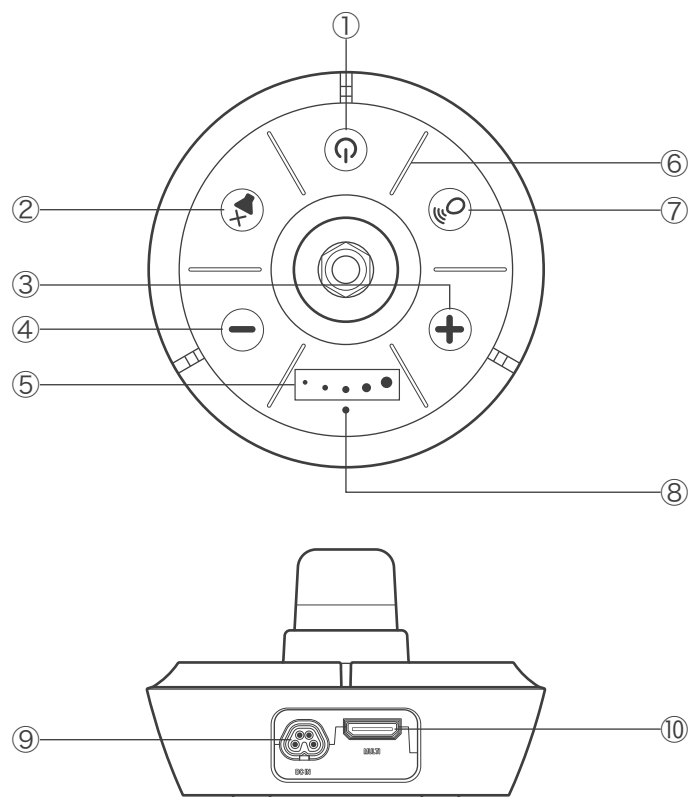
お手入れするときは、電源を切って電源プラグを抜いてください。
電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因になります。

無線通信機能を使用する場合のお願い

- ・本製品の使用周波数帯は 2.4GHz です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器の他、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など、他の無線局が運用されています。
- ・本製品を使用する前に、周辺区域で他の無線局が運用されていないことを確認の上、使用を開始してください。
- ・本製品は電磁波を発生、使用、放射するため、取扱説明書に従って使用しない場合には無線通信の障害の原因となることがあります。また、特定の設置方法によって障害が起きないことを保証するものではありません。本製品がラジオやテレビの受信に障害を発生させる場合には、次の方法をお試してください。なお本製品が原因かどうかを調べるには、本製品の電源を入/切してご確認ください。
 - － 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を変える
 - － 本製品と受信アンテナの設置場所を離す
 - － 本製品と受信アンテナを別回路のコンセントに接続する
 - － 販売店、もしくはラジオやテレビの専門技術者に相談する
- ・本製品は日本国内でご使用ください。本製品の無線通信機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
※ 海外でご使用になると罰せられることがありますので、ご注意ください。
- ・その他、本製品の無線装置などについて不明な点などございましたら、販売代理店または、お問い合わせ窓口までご連絡ください。

各部の名称

本体（コントロールドック／レシーバー）



①電源ボタン

押す：本体の電源を入れたり、切ったりします。

②ミュートボタン

押す：スピーカーから出る音を消音／消音解除することができます。

（本体の音量インジケーターが消灯）

・ 押すたびに消音／消音解除確認音が鳴ります。

③音量ボタン（+）

押す：音量を上げます。

長く押す：音量をすばやく上げます。

・ 音量レベル最大時に押すと、ボイスコンプレッサーが起動し、マイクの感度が上がります。（本体の音量インジケーターの中央のランプが点滅）

・ 押すたびに現在の音量レベルの音量確認音が鳴ります。

④音量ボタン（-）

押す：音量を下げます。

長く押す：音量をすばやく下げます。

・ ボイスコンプレッサー起動中に押すと、ボイスコンプレッサーをオフにすることができます。本体の音量インジケーターの中央のランプが点灯するまで押してください。

・ 押すたびに現在の音量レベルの音量確認音が鳴ります。

⑤音量インジケーター

現在の音量レベルを確認できます。（現在の音量レベルに応じて点灯しているランプの数が増減）

⑥イルミネーション

電源の入／切の状態を確認できます。（電源が入っているときは点灯）

⑦ペアリングボタン

押す：マイクトランスミッターなどの無線通信機器をペアリング（接続）します。

⑧ペアリングインジケーター

マイクトランスミッターなどの無線通信機器とのペアリングの状態を確認できます。（ペアリング中は点灯、ペアリング待機中は点滅）

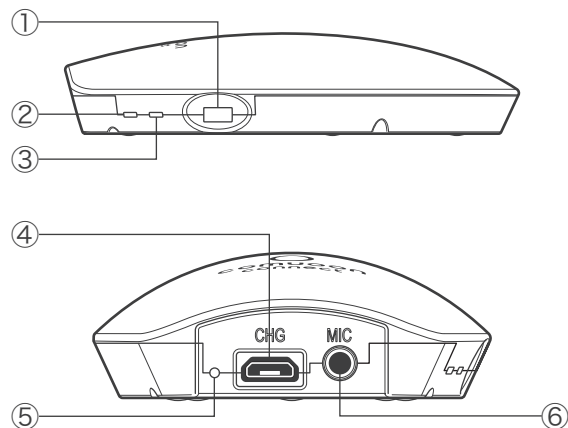
⑨DC IN 端子

AC アダプタを利用して電源に接続します。

⑩MULTI 端子

音質調整など、本体のメンテナンスに使用します。お客様がご使用になることはできません。

マイクトランスミッター



①電源ボタン

押す：マイクトランスミッターの電源を入れます。

- ・電源が入っている状態で押すと、マイクトランスミッターから送信する音を消音／消音解除することができます。

長く押す：マイクトランスミッターの電源を切ります。

②ペアリングインジケータ

本体とのペアリングの状態を確認できます。(ペアリング中は点灯、ペアリング待機中は点滅)

③ミュートインジケータ

マイクトランスミッターの消音の状態を確認できます。(消音中は点滅)

④CHG 端子

USB ケーブルを利用して電源に接続し、充電します。

⑤電源／充電インジケータ

電源の入／切や充電の状態などを確認できます。(電源が入っている場合は青色で点灯、充電中は赤色で点灯、電池残量が少ない場合は青色で点滅)

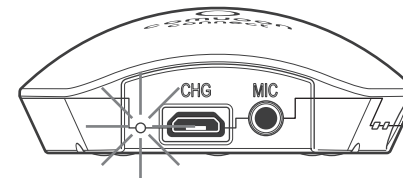
⑥MIC 端子

マイクを接続します。

■充電について

マイクトランスミッターにはリチウムポリマー電池が内蔵されています。充電するにはマイクトランスミッター背面の CHG 端子に USB ケーブルを接続し、スマートフォン用の AC アダプタやパソコンの給電ができる USB 端子などの電源に接続してください。

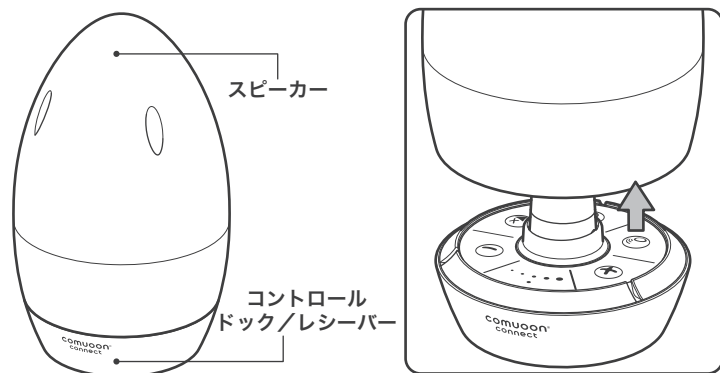
- ・充電中はマイクトランスミッターの電源／充電インジケータが赤色で点灯します。
- ・充電時間は最大 5 時間です。



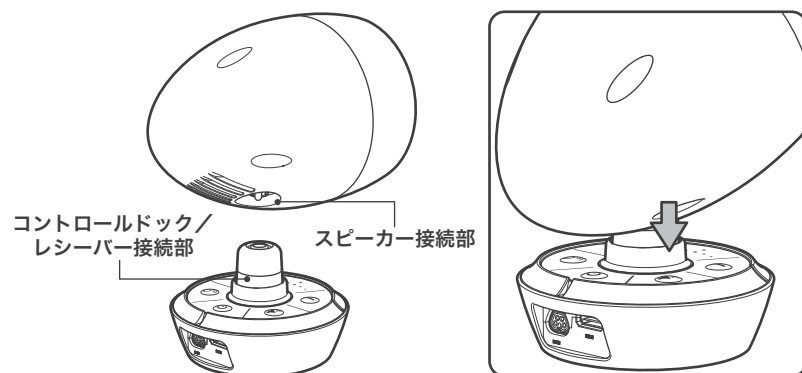
comuoon connect の準備

本体を組み立ててから、電源に接続します。

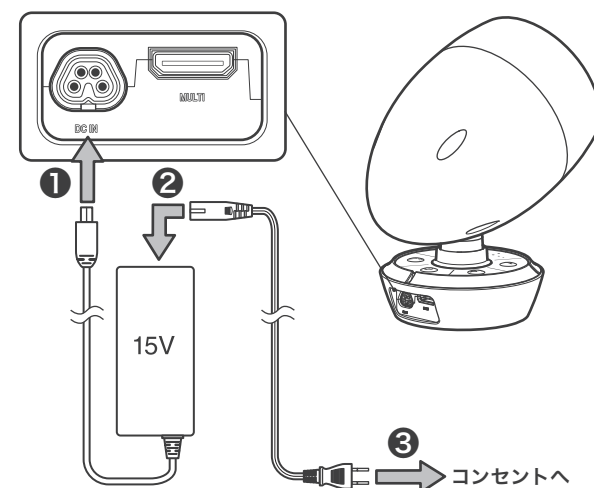
- 1** スピーカーをコントロールドック／レシーバーから外します。



- 2** コントロールドック／レシーバーの接続部分にスピーカーの接続部分をまっすぐ差し込みます。



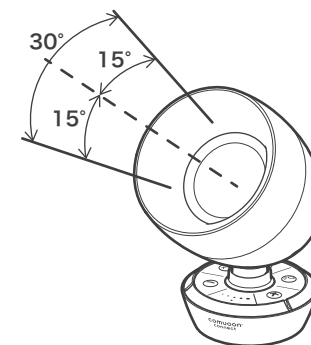
- 3** AC アダプタを本体につなぎます。
① ACアダプタを本体背面のDC IN端子に接続します。
② ACアダプタと電源コードを接続します。
③ 電源プラグをコンセントに接続します。



■スピーカーの向きを調整

スピーカーは上下 30° の範囲で角度を調整できます。

- ・ 操作する際は、コントロールドック／レシーバーをしっかり支え、無理な力がかからないようにスピーカーを持って操作してください。

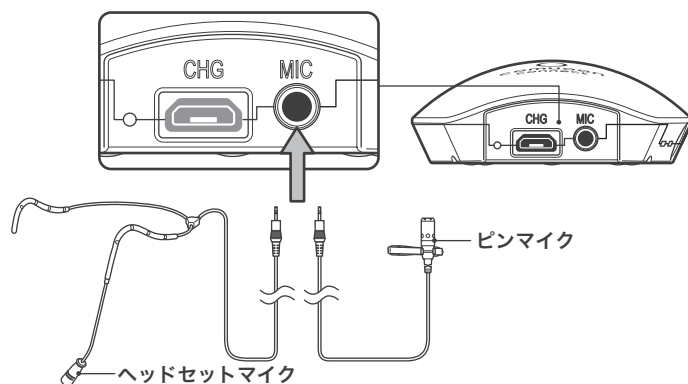


comuoon connect の接続

マイクトランスミッターにマイクをつないでから、本体とマイクトランスミッターをペアリング（接続）します。

- ・ 1 台のマイクトランスミッターに対し、最大で 4 台の comuoon connect 本体を同時にペアリングできます。

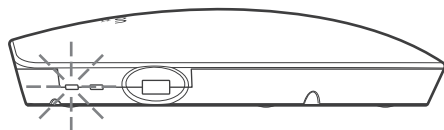
1 ヘッドセットマイクまたはピンマイクを、マイクトランスミッター背面の MIC 端子に接続します。



2 マイクトランスミッターの電源ボタンを押します。

マイクトランスミッターの電源／充電インジケータが青色で点灯／点滅し、マイクトランスミッターの電源が入ります。

- ・ 電源が入るとマイクトランスミッターのペアリングインジケータが点滅し、ペアリング待機中の状態になります。

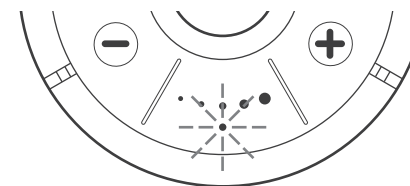


3 本体の (電源ボタン) を押します。

本体のイルミネーションが点灯し、本体の電源が入ります。

- ・ 電源が入って起動が完了すると起動音が鳴り、本体のペアリングインジケータが点滅してペアリング待機中の状態になります。

※ 前回ペアリングを行っている場合は、本体とマイクトランスミッターの電源を入れると自動的にペアリングされます。以降の操作は不要です。



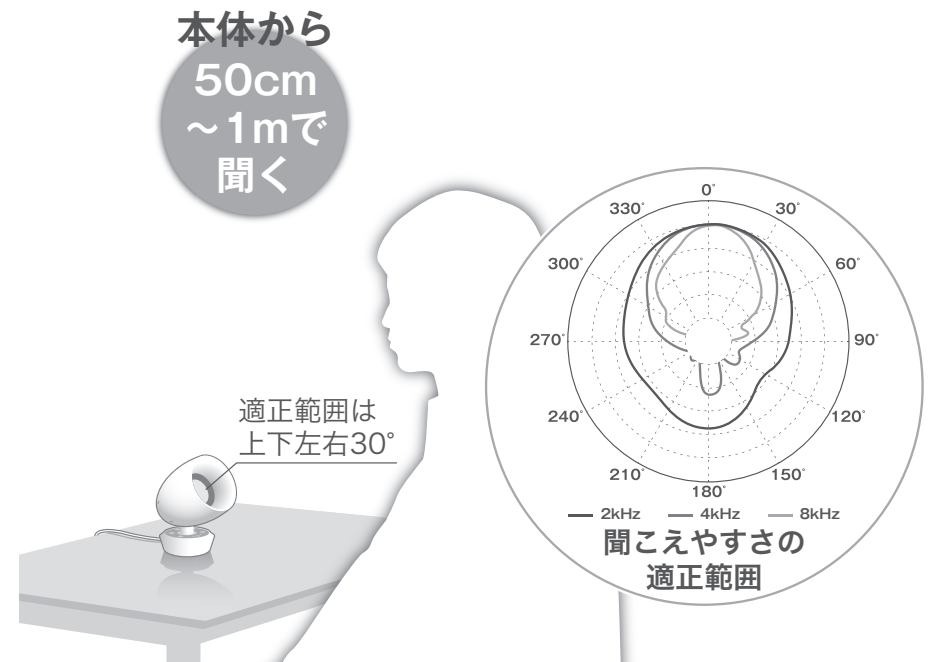
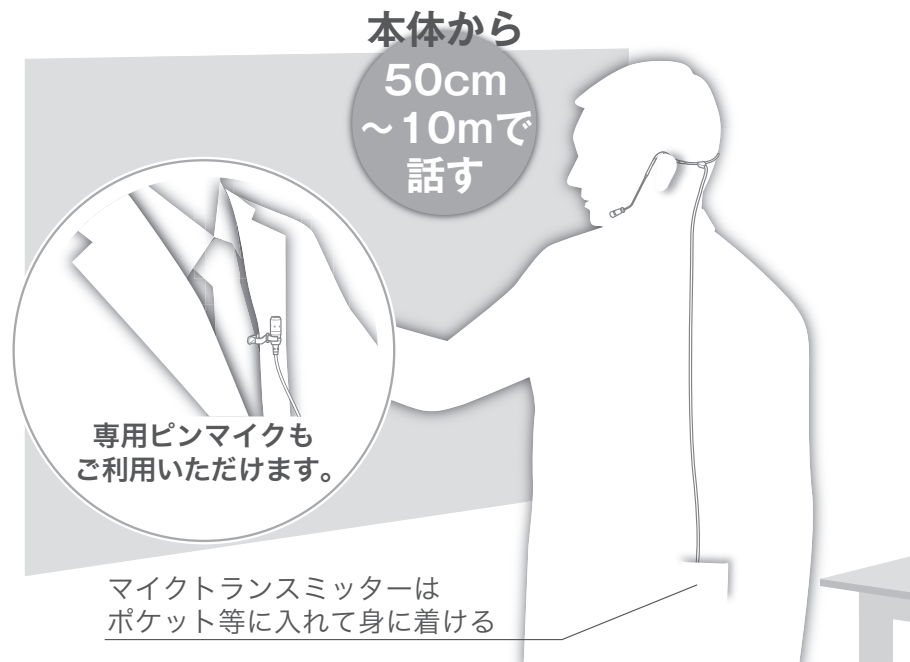
4 本体の (ペアリングボタン) を押します。

ペアリングに成功すると、本体とマイクトランスミッターのペアリングインジケータが点滅から点灯に変わり、本体からペアリング完了音が鳴ります。

- ・ 本体を追加でペアリングしたい場合は、追加する本体で手順 3 と手順 4 の操作を行ってください。

comuoon connect の設置

教室での設置例



※ハウリングするときは→ P23

comuoon connect の使い方

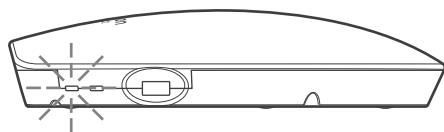
あらかじめ本体とマイクトランスミッターをペアリングしておいてください。

※ペアリングの操作方法について→P17

1 マイクトランスミッターの電源ボタンを押します。

マイクトランスミッターの電源／充電インジケータが青色で点灯／点滅し、マイクトランスミッターの電源が入ります。

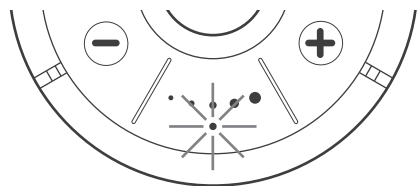
- ・電源が入るとマイクトランスミッターのペアリングインジケータが点滅し、ペアリング待機中の状態になります。



2 本体の $\text{\textcircled{P}}$ （電源ボタン）を押します。

本体のイルミネーションが点灯し、本体の電源が入ります。

- ・電源が入ると本体とマイクトランスミッターのペアリングインジケータが点灯して、自動的にペアリングが完了します。
- ・本体の起動が完了すると起動音が鳴ります。



※ 本体の起動が完了しても本体とマイクトランスミッターのペアリングインジケータが点滅している場合は、ペアリングができていません。本体の $\text{\textcircled{P}}$ （ペアリングボタン）を押してペアリングしてください。
→P17

3 本体の $\text{\textcircled{+}}$ / $\text{\textcircled{-}}$ （音量ボタン）を押して音量を調整します。

- ・消音／消音解除する場合は本体の $\text{\textcircled{X}}$ （ミュートボタン）またはマイクトランスミッターの電源ボタンを押してください。
- ・本体の $\text{\textcircled{+}}$ （音量ボタン）を音量インジケータの中央のランプが点滅するまで押すと、ボイスコンプレッサーが起動し、マイクの感度が上がります。
ボイスコンプレッサーをオフにするには、本体の音量インジケータの中央のランプが点灯するまで本体の $\text{\textcircled{-}}$ （音量ボタン）を押してください。

4 マイクに向かって話します。

5 使い終わったら本体の $\text{\textcircled{P}}$ （電源ボタン）を押します。

本体のイルミネーションが消灯し、本体の電源が切れます。

6 マイクトランスミッターの電源ボタンを長押しします。

マイクトランスミッターの電源／充電インジケータが消灯し、マイクトランスミッターの電源が切れます。

ハウリングするときは

ハウリングを改善するために

■マイクや設置位置が原因の場合

- ・マイクとスピーカーの距離が近すぎませんか？ マイクとスピーカーを 50cm 以上離してご利用ください。
- ・マイクとスピーカーが外向きになるように設置してください。マイクとスピーカーが向き合うと、ハウリングしやすくなります。
- ・ハウリングやノイズの原因になりますので、マイクを手を持って使用しないでください。
- ・手や物でマイクをふさがないでください。

■スピーカーシステムが原因の場合

- ・音量を上げすぎていませんか？ 本体の⊖（音量ボタン）を押して音量を下げてください。
- ・手や物でスピーカーの正面をふさがないでください。

※ ハウリングが改善しないときは、販売代理店または、お問い合わせ窓口までご連絡ください。

困ったときは

Q

本体またはマイクトランスミッターの電源が入らない。

A

- ・ AC アダプタと本体およびコンセントとの接続を確認してください。
- ・ マイクトランスミッターの電池残量がない可能性があります。マイクトランスミッターを充電してください。

Q

音が出ない。

A

- ・ 本体とマイクの接続を確認してください。
- ・ 本体およびマイクトランスミッターの電源が入っているか確認してください。
- ・ 本体の⊗（ミュートボタン）が押されているか、音量レベルが最小の可能性があります。
電源が入っているにもかかわらず、本体の音量インジケータが消灯している場合は、本体の⊗（ミュートボタン）または⊕（音量ボタン）を押してください。
- ・ マイクトランスミッターが消音になっている可能性があります。マイクトランスミッターのミュートインジケータが点滅している場合は、マイクトランスミッターの電源ボタンを押してください。

Q

音がひずむ。

A

本体の⊖（音量ボタン）を押して音量を下げてください。

Q 音が小さい。

A 本体の⊕（音量ボタン）を押して音量を上げてください。

Q 本体の音量インジケーターが点灯しない。

A 本体のⓧ（ミュートボタン）が押されているか、音量レベルが最小の可能性があります。
電源が入っているにもかかわらず、本体の音量インジケーターが消灯している場合は、本体のⓧ（ミュートボタン）または⊕（音量ボタン）を押してください。

Q ペアリングできない。

A ・ペアリングは、見通し距離約 10m 以内で行ってください。
本体とマイクトランスミッターの間に遮蔽物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては、接続可能距離が短くなります。
・ペアリングに失敗した場合は、本体とマイクトランスミッターの電源を切り、操作をやり直してください。
・近くにマイクトランスミッター以外の無線通信機器があり、本製品と干渉している可能性があります。その他の無線通信機器を遠くに移動するか、電源を切ってください。

Q 音声が届かない。

A 無線通信が正しく行われていない可能性があります。
・本体とマイクトランスミッターの間に遮蔽物（壁や家具など）がある場合は、本体やマイクトランスミッターを移動してください。
・マイクトランスミッターの最大通信距離は約 10m です。
また、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては、最大通信距離が短くなります。本体とマイクトランスミッターの間隔を短くしてください。
・近くにマイクトランスミッター以外の無線通信機器があり、本製品と干渉している可能性があります。その他の無線通信機器を遠くに移動するか、電源を切ってください。

comuoon connect 製品仕様

コントロールドック/レシーバー（アンプ）部	
再生周波数帯域	20Hz ～ 22,000Hz
実用最大出力	10W/8 Ω（10%THD 時）
T.H.D.	0.2%以下（1W 出力時）
S/N 比	85dB 以上（JIS-A）
PEQ	最大 12 バンド
DRC	ダイナミックレンジコントロール機能有り（ボイスコンプレッサー）
ステレオ入力	ステレオマトリックスによるミックス
外部 IF	20pin マルチコネクタ（音質調整用）
無線部遅延時間	100ms 以下
伝送方式	非圧縮ロスレス 48kHz
保存温度	-5℃ ～ 50℃
動作温度	5℃ ～ 35℃
電源電圧	DC15V
外形寸法	85mm (W) × 85mm (D) × 54.2mm (H)
質量（本体のみ）	107g

スピーカー部	
型式	密封型
実用最大出力	10W 8 Ω
内容積	0.35L
スピーカーユニット	φ 60mm フラットスピーカー
周波数特性	80Hz ～ 20,000Hz
外形寸法	95mm (W) × 95mm (D) × 133mm (H)
質量	328g

マイクロトランスミッター部	
マイク入力	φ 3.5mm 3 極ミニジャック
外部 IF	Micro B-USB コネクタ（リチウムポリマー電池充電用）
伝送方式	2.4GHz デジタル無線
最大同時使用台数	4 台
最大通信距離	見通し約 10m（環境により異なります）
保存温度	-5℃ ～ 45℃
動作温度	5℃ ～ 35℃
バッテリー／持続時間	3.7V 1,020mAh リチウムポリマー電池／約 8 時間（満量充電時）
充電時間	約 5 時間
外形寸法	100mm (W) × 60mm (D) × 20mm (H)
質量	56g

USB ケーブル部	
型式	USB A コネクタ - Micro B USB コネクタ
ケーブル長	2m

AC アダプタ部	
入力電源電圧	AC 100V
出力電源電圧	DC 15V 2.4A
ケーブル長	3.8m（電源コード接続時）

マイク部（ヘッドセットマイク）	
型式	バックエレクトレットコンデンサー型
感度	-47dB±4dB（0dB=1V/1Pa）
周波数特性	150Hz ～ 10kHz
出力インピーダンス	2kΩ以下 at 1kHz（RL=2.2kΩ）
指向特性	単一指向性
動作電圧	1.3V ～ 12V 基準動作電圧 3V
消費電流	250μA 以下
最大入力音圧	104dB S.P.L（RL=2.2kΩ 1kHz 1% THD 時）
S/N 比	52dB 以上（1kHz/Pa A-Weighted 時）

マイク部（ピンマイク）	
型式	バックエレクトレットコンデンサー型
感度	-44dB±3dB (0dB=1V/1Pa)
周波数特性	100Hz ~ 20kHz
出力インピーダンス	1.5kΩ ±30% (RL=2.2kΩ 1kHz 時)
指向特性	単一指向性
動作電圧	1.3V ~ 10V 基準動作電圧 3V
消費電流	500μA 以下
最大入力音圧	110dB S.P.L (RL=2.2kΩ 1kHz 1% THD 時)
S/N 比	60dB typical (1kHz/Pa A-Weighted 時)

MEMO
